

■一般会計の執行状況

【歳入】

| 区分 | 予算現額 | 収入済額 | 収入率 |
|--------------|-------------|-------------|--------|
| 市税 | 142億6,093万円 | 86億1,309万円 | 60.4% |
| 地方譲与税 | 5億5,512万円 | 1億4,968万円 | 27.0% |
| 地方消費税 交付金 | 16億5,501万円 | 10億810万円 | 60.9% |
| 地方交付税 | 94億9,816万円 | 64億3,681万円 | 67.8% |
| 分担金及び 負担金 | 8億1,197万円 | 2億1,561万円 | 26.6% |
| 使用料及び 手数料 | 5億4,484万円 | 2億8,663万円 | 52.6% |
| 国庫支出金 | 55億1,659万円 | 16億2,968万円 | 29.5% |
| 県支出金 | 27億7,477万円 | 3億240万円 | 10.9% |
| 財産収入 | 9,563万円 | 4,264万円 | 44.6% |
| 寄附金 | 7,470万円 | 1,860万円 | 24.9% |
| 繰入金 | 25億8,128万円 | 283万円 | 0.1% |
| 繰越金 | 12億176万円 | 12億177万円 | 100.0% |
| 諸収入 | 6億1,136万円 | 2億1,299万円 | 34.8% |
| 市債 | 95億905万円 | 0円 | 0.0% |
| その他の 交付金 | 5億6,130万円 | 2億2,557万円 | 40.2% |
| 合計 | 502億5,247万円 | 203億4,640万円 | 40.5% |

【歳出】

| 区分 | 予算現額 | 支出済額 | 執行率 |
|-------|-------------|-------------|-------|
| 議会費 | 2億9,802万円 | 1億5,472万円 | 51.9% |
| 総務費 | 106億7,188万円 | 30億4,653万円 | 28.5% |
| 民生費 | 139億3,751万円 | 50億2,569万円 | 36.1% |
| 衛生費 | 75億850万円 | 14億5,460万円 | 19.4% |
| 労働費 | 7,403万円 | 6,238万円 | 84.3% |
| 農林業費 | 18億2,346万円 | 7億2,343万円 | 39.7% |
| 商工費 | 4億368万円 | 2億4,448万円 | 60.6% |
| 土木費 | 26億4,654万円 | 8億1,087万円 | 30.6% |
| 消防費 | 16億7,179万円 | 7億4,044万円 | 44.3% |
| 教育費 | 35億8,035万円 | 11億4,402万円 | 32.0% |
| 災害復旧費 | 12億2,974万円 | 4億2,150万円 | 34.3% |
| 公債費 | 63億7,697万円 | 18億4,863万円 | 29.0% |
| 予備費 | 3,000万円 | 0円 | 0.0% |
| 合計 | 502億5,247万円 | 156億7,729万円 | 31.2% |

■特別会計の執行状況

| 会計名 | | 予算現額 | 収入済額 | 収入率 | 支出済額 | 執行率 |
|------|-----------|-------------|------------|--------|------------|-------|
| 特別会計 | 国民健康保険事業 | 99億9,799万円 | 38億3,166万円 | 38.3% | 38億5,701万円 | 38.6% |
| | 住宅新築資金等貸付 | 8,579万円 | 550万円 | 6.4% | 7,830万円 | 91.3% |
| | 駐車場事業 | 4,780万円 | 2,017万円 | 42.2% | 1,031万円 | 21.6% |
| | 介護保険事業 | 100億5,263万円 | 43億1,123万円 | 42.9% | 41億6,021万円 | 41.4% |
| | サービスエリア | 1,035万円 | 522万円 | 50.4% | 289万円 | 27.9% |
| | 後期高齢者医療 | 12億6,313万円 | 3億5,251万円 | 27.9% | 4億1,997万円 | 33.2% |
| | 食肉センター | 9,935万円 | 6,315万円 | 63.6% | 6,173万円 | 62.1% |
| 財産区 | 島ヶ原財産区 | 2,769万円 | 152万円 | 5.5% | 391万円 | 14.1% |
| | 大山田財産区 | 1,258万円 | 1,391万円 | 110.6% | 77万円 | 6.1% |
| 合計 | | 215億9,731万円 | 86億487万円 | 39.8% | 85億9,510万円 | 39.8% |

伊賀市の予算執行状況を 報告します

－平成30年度上半期の財政状況－

市の財政状況を皆さんに知っていただくため、予算に対する歳入・歳出の執行状況などを報告します。

平成30年度上半期(4～9月)の予算執行状況(9月30日現在)は次のとおりです。

※表示単位未満を四捨五入していますので、予算書の金額(千円単位)と一致していない場合があります。

■市税の状況(滞納繰越分を含む。)

| 区分 | 予算現額 | 収入済額 | 収入率 |
|---------|-------------|------------|-------|
| 市民税 | 58億6,278万円 | 28億8,150万円 | 49.1% |
| 固定資産税 | 74億3,050万円 | 51億2,341万円 | 69.0% |
| 特別土地保有税 | 0円 | 853万円 | － |
| 軽自動車税 | 3億751万円 | 3億466万円 | 99.1% |
| 市たばこ税 | 6億306万円 | 2億6,878万円 | 44.6% |
| 鉱産税 | 5万円 | 2万円 | 40.0% |
| 都市計画税 | 7万円 | 1万円 | 14.3% |
| 入湯税 | 5,696万円 | 2,618万円 | 46.0% |
| 合計 | 142億6,093万円 | 86億1,309万円 | 60.4% |

■市債・企業債残高

| 会計名 | 現在高 |
|--------|-------------|
| 一般会計 | 513億1,850万円 |
| 特別会計 | 2,424万円 |
| 公営企業会計 | 303億8,573万円 |
| 合計 | 817億2,847万円 |

■一時借入金はありません。

市政功労賞・善行賞受賞者

市の公益増進や市政の振興発展に貢献された方々にお贈りする市政功労賞と奉仕活動や善行のあった方々にお贈りする善行賞の受賞者が決まりました。市制施行14周年を迎える11月1日に表彰状を贈呈します。

【市政功労賞】

桃井 隆子さん（畑村）



旧大山田村議会議員を3期（6年11月）、伊賀市議会議員を3期（8年5月）と永きにわたり務められ、地方自治の振興発展に大きく貢献されました。

この間、大山田村議会では、監査委員を、伊賀市議会では、副議長、教育民生常任委員長、産業経済常任副委員長、農林業活性化特別副委員長を歴任し、議会の円滑な運営と地域発展に尽力されました。

嶋澤 正彦さん（上神戸）



平成17年4月のきじが台住民自治協議会設置当初から13年の永きにわたり、住民自治協議会長を務められ、地域社会の発展に大きく貢献されました。また、住民自治協議会代表者で構成する伊賀市上野住民自治地区連合会で平成29年6月から副会長に就任し、会の円滑な運営に寄与されました。

このほか、伊賀市少子化対策推進委員会委員や地域公共交通会議委員を務められ、各行政施策の推進に尽力されました。

西田 誠さん（三田）



財団法人（現公益財団法人）芭蕉翁顕彰会の理事・会長を12年10月の永きにわたり務められ、伊賀市とともに車の両輪となり、芭蕉顕彰と俳句啓発や市の文化振興に大きく貢献されました。

芭蕉翁献詠俳句「児童・生徒の部」の選者を28年間務められたほか、自ら芭蕉顕彰・俳句啓発を行うべく句会の開催や指導を行うなど、俳句人口の増加に尽力されました。

【善行賞】

種月 由紀子さん（別府）
種月 大介さん（大阪府枚方市）



画家 故種月明氏の多数の絵画作品などを寄附いただきました。



故人は、伊賀の静かな環境に愛着を感じ、創作活動を続けられました。このたび、市民に身近に鑑賞できる場とその機会を創出できるようにとの故人の思いを受けて、作品と併せ、創作のため蒐集された蔵書・古美術、建物（美術館、茶室）とその敷地を寄附いただきました。市民の豊かな感性を育み、潤いのある生活をもたらすべく、文化振興に貢献されました。

松生 厚志さん（安場）



画家 故松生良人氏の絵画作品を多数寄附いただきました。

故人は、市展「いが」絵画部門の審査員を務められ、伊賀地域の絵画の振興に尽力されました。このたび、故人の作品を市民に身近に鑑賞していただき、芸術文化振興に役立てたいと、寄附いただきました。市民の豊かな感性を育み、潤いのある生活をもたらすべく、文化振興に貢献されました。

高岡 佳久さん（比土）



比土と古郡地区の神戸小学校児童の登下校の見守りや付き添いを、15年の永きにわたり、雨の日も風の日も毎日続けておられます。

特に、通行量の多い比土地内の国道422号を児童が横断する際には、大きな声で的確に声をかけながら安全に誘導し、天候が不順な時などの安全確保にも気を配るなど、交通事故の被害から児童を守ってこられました。また、体調不良の児童がいれば介抱し、学校に連絡するなど、通学の安全、地域安全の維持に貢献されています。

お知らせ拡大版

お知らせ

催し

募集

まちかど通信

コラム

図書・救急など